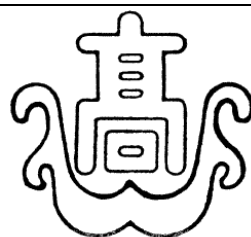




ば はら

波原便り



県立辺土名高等学校
令和8年7月15日(水)
発行者 校長 徳里政哉

第5号

自然環境科1年生を対象に特設授業を実施

6月8日(月)に自然環境科1年生を対象に、「やんばるの自然」の授業の一環で、特設授業を行いました。当日は講師に森林総合研究所の小高信彦さまを招き、前半でノグチゲラの生態やそれを育むやんばるの自然の特徴などを学び、後半には野外に出て調査手法の体験実習を行いました。小高先生は、これまで10年以上辺土名高校の生徒のために講演をして頂くなど、普及活動を長く続けられている方です。様々な分野の専門家から直接ご指導頂けることに改めて感謝の気持ちを忘れずにいましょう。



当日は講師に森林総合研究所の小高信彦さまを招き、前半でノグチゲラの生態やそれを育むやんばるの自然の特徴などを学び、後半には野外に出て調査手法の体験実習を行いました。小高先生は、これまで10年以上辺土名高校の生徒のために講演をして頂くなど、普及活動を長く続けられている方です。様々な分野の専門家から直接ご指導頂けることに改めて感謝の気持ちを忘れずにいましょう。

「HY ゴーゴーゴヤー」の収録がありました！

6月16日(火)にHY ゴーゴーゴヤー(沖縄テレビで毎週土曜日放送)の収録が本校で行われました。目的は、やんばる地域のほか奄美、徳之島、西表島が世界自然遺産に登録されてから5周年となる今年、やんばる世界自然遺産大使に任命されているHYが本校サイエンス部取材し、やんばるの豊かな生態系や、環境保全への取り組みについて学ぶというものです。

当日は、サイエンス部の皆さんが、それぞれの研究内容をHYのお二人に熱く語る様子が見られました。予定を超過しながらも丁寧に説明を聞いて頂いた番組スタッフの皆様に感謝いたします。

辺土名高校の取り組みを多くの視聴者に届けてもらいたいですね。放送は8月頃を予定とのこと。お楽しみに！



関連イベント

「世界自然遺産登録5周年記念シンポジウム」に本校サイエンス部が登壇します。HYの皆さんも一緒に世界自然遺産について学びます。

当日は北部山村をはじめ、同じ世界自然遺産に登録されている奄美・徳之島からも参加して特産品販売などもあります。

開催日時 7月25日(土)10:00~20:00

7月26日(日)10:00~17:30

場所:パレット前広場、琉球新報本社ビル

「浮いてまで講習会」実習の様子

6月30日(火)に自然環境科2年生を対象に、「浮いてまで講習会」が開催されました。これは、授業「野外の活動」の一環で、水難事故を未然に防ぐための技術を身につけ、安全に行動できる判断力・行動力を身につけることを目的に開催されたものです。

講師には「UITEMATE 沖縄」ボランティアスタッフの皆様を招いてペットボトルを用いた浮く練習から、後半は浮きながら移動する方法もご指導頂きました。参加した生徒の皆さんからは、体の2%は必ず浮くことを頭と体で理解し、今後に役立てたいという感想が多く挙がりました。今回参加できなかった周りの人にも是非広めて下さい。



大保干潟ユースガイド養成講座出前授業を開催しました



去った7月8日(水)に、自然環境科2年生を対象に「大保干潟ユースガイド養成講座」が開催されました。これは身近な自然環境への理解促進と今後ガイドとして地元へ貢献できる人材を育成することを目的に大宜味村

が企画している取組で、この日はお二人の講師から自然との関わり方や自然ガイドの取組についてお話し頂きました。今後は希望者対象に生き物観察会へのガイドとしても参加機会があります。地域の貴重な自然を自分たちの手で守る意識が育って欲しいです。

「やんばるの自然と生活」の授業風景

普通科2年生(R8 入学生からは1年生)に設定している授業「やんばるの自然と生活」の実習風景を紹介します。

今回は7月7日に行われた実習「うーはぎ」と呼ばれる工程で、芭蕉の幹を剥ぎ、繊維にする部分と芯の部分に分けていきます。

糸になるものなので、途中で切れないように慎重に剥いていきます。また、芯の部分は「グイ」と呼ばれる柔らかい部分で、後日料理の材料に使われるそうです。

この体験を通して地元大宜味村が誇る芭蕉布の歴史を学んで欲しいですね。

